

令和6年

区民委員会会議録

とき 令和6年5月13日

品川区議会

令和6年 品川区議会区民委員会

日 時 令和6年5月13日（月） 午後1時00分～午後2時31分
場 所 品川区議会 議会棟5階 第3委員会室

出席委員 委員長 西村直子 委員 えのした正人
委員 あくつ広王 委員 山本やすゆき
委員 藤原正則 委員 せらく真央
委員 横山由香理

欠席委員 副委員長 石田ちひろ

出席説明員 川島地域振興部長 宮澤地域活動課長
河合生活安全担当課長 今井八潮まちづくり担当課長
築山戸籍住民課長 辻文化観光スポーツ振興部長
大森文化観光戦略課長 栗原創業・スタートアップ支援
担 当 課 長
三井スポーツ推進課長

○午後1時00分開会

○西村委員長

ただいまより区民委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付してございます審査・調査予定のとおり、報告事項、その他と進めてまいります。

なお、本日、石田副委員長は欠席とのご連絡をいただいております。

それでは、本日も効率的な委員会運営にご協力をよろしく願いいたします。

1 報告事項

(1) 水辺のプチ旅事業「しながわクルーズ」の実施について

○西村委員長

それでは、まず初めに、予定表1の報告事項を聴取いたします。

まず、(1)水辺のプチ旅事業「しながわクルーズ」の実施についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○大森文化観光戦略課長

本日はお時間をいただきありがとうございます。水辺のプチ旅事業「しながわクルーズ」の実施についての報告をさせていただきます。

まず、1番、背景・目的ですが、本区の水辺の活用としてクルーズ事業を推進しております。こちらは令和4年、5年と短期間のクルーズ事業は実施しているのですが、今年度は少し長期スパンのクルーズということで、ご好評を得ているところでございますので、今回は通年運航ということで実施しようという考えでございます。

こちらのクルーズ事業を通しまして、区内の水辺の一層の知名度やイメージ醸成を図るとともに、ニーズの把握や課題の抽出などをいたしまして、今後の水辺の魅力のさらなる向上につなげようということを目指しております。

2番、運航日程についてですけれども、令和6年6月から令和7年3月までを予定しております。毎月2日間程度の土日、連日を実施日としまして、イベントなどの開催に合わせて運航を予定しているところでございます。

3番、運航コースですけれども、大きくは3コースとなります。まず、①番、東京湾コース、こちらは周遊という形になります。天王洲からお台場を回りまして、天王洲にまた戻ってくるというコースになりまして、約60分。そして、②番が目黒川コース。こちらは、天王洲を発進しまして五反田のリバーステーションとつないだ形ということで、棧橋同士をつなぐという形で、片道の運航時間は約30分と見ております。③番、京浜運河コースということで、こちらは天王洲としながわ水族館の棧橋を結ぶコースとなっております。こちらの運航時間は約40分を見ております。そして、④番、特別運航便ということで、上記3つのコースと、また今予定している時期もあるのですが、そのほかで特別運航便を出したり、あと、それに応じて天王洲の東品川二丁目を周遊するといった特別なコースを出しまして、約500運航程度というものを見越しております。

それから、4番、乗船料金に関しまして、こちらは、時期や他の舟運事業者との競合等がないように、少し幅を持たせてございます。大人は1,000円から2,000円程度を予定しておりまして、子どもにつきましては500円から1,000円程度ということで、そういった金額の幅で実施しようと考え

てございます。

それから、5番、運営体制になります。こちらは一般社団法人Tokyo Sea Tripというところで、こちらの事業者は区内の屋形船事業者を一つにまとめてくださっている団体でございます。令和4年、5年のクルーズのときもTokyo Sea Tripのお世話になっているということで、Tokyo Sea Tripの協力を得て、共催という形で実施していこうと考えております。

6番、予算は3,439万円ということで予定しております。

それから、周知方法ですが、6月1日の広報しながわに掲載しまして、そこからホームページやポスティング、区のSNSなどを活用して、周知を図っていく予定となっております。

予約と決済に関しては、Tokyo Sea Tripと連携しまして、特設ホームページを開設いたしまして、その中で電子でもって予約をできたり、決済ができたりと、そういうところにも取り組んでまいろうかと考えております。

○西村委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたらお願いいたします。

○えのした委員

ご説明ありがとうございます。これ、今ちょうど、今日は少し雨が降って肌寒い感じがしますがけれども、これから6月に入って、一番野外でクルーズが楽しめる季節が始まるかなと思っていますけれども、私も水辺の利活用、質問や要望をさせていただきましたが、地元地域ですと、やはり水辺から遠いというか離れているのです。そのときにも、水辺に近いところは利用というのがイベント等で増えたり、あとは、しながわクルーズを把握されている方がいらっしゃると思うのですけれども、やはり遠い地域だと、「そんなのやっているの」というお声もありますし、ぜひこういう地域イベントや団体、ホテル、飲食、新たな連携先というのがあるのですけれども、例えば割引ですとか、ポスティングですとか周知のときに幾らか、そのチケットを使えば100円でも200円でも、割引券みたいな、そういったことはお考えなのかということと、あと、私も昨年ちょうど12月、五反田から天王洲まで視察に行ってきたのですが、かなり寒くて、これからは暑くなると。そのとき私が感じていたのは、よく今、野外のイベントは熱中症対策、熱中症対策と言われますが、その熱中症も含めて暑さ対策とか寒さ対策というのを、結構高齢者の方のご参加が多かったのですが、その辺をどうお考えなのかと。あともう一つだけ、これは片道の乗船料金なのか。そのときも私も、1,000円と書いてあったのかな、たしか片道が。ただ、片道とか往復という概念がないのと、やはり行くと帰ってこない、倍かかるみたいなので、そのときに告知が、私も、「あ、これはそうか、往復で戻ってこなければいけないとなると、倍かかるのだ」などと自分で感じて、あと、しかも寒かったから天王洲で降りてしまったのです。だから、その辺、多分、分かっていない方もいらっしゃると思うので、丁寧にご説明をしてほしいなと思っていますけれども、その辺、どうお考えかお知らせください。

○大森文化観光戦略課長

ただいま、ご質問は3点かと思えます。まず、水辺から遠い地区に対しての周知ですとか割引、暑さ寒さ対策、それから、乗船料の往復の周知ということです。

まず、割引に関しては、チラシ等を作成しますので、文化観光戦略課でも各地区でのイベント等をやっております。今回は短期間ではなく長期間にわたるクルーズとなっておりますので、そういったイベントは荏原の地区が恐らくイメージがつくのかなと思うのですけれども、そういったところのイベ

ント等でチラシを配布していくようにも心がけてまいります。

割引については、チラシの一部を三角形に切り取って、そこをとかというようなことをすることによって、実質、それが区内の割引になったりとかとつながるのかなと思っておりますので、そちらは、運営体制、共催しているTokyo Sea Tripにも相談してみまして、そういったことができるように声をかけていきたいと思っております。

それから、暑さ寒さ対策ですけれども、まず、コースの①と③の東京湾コースと京浜運河コースにしましては、利用する船が屋形船を考えておりますので、そちらは室内という形になるので、あまり外気の影響は受けないかなと思っております。やはり一番影響を受けるのが目黒川コースです。あそこは屋形船が通れる川幅がないので、どうしても平船というオープンの船になります。そちらは平船に、寒さ対策としてはダウンジャケット等、用意されているものがあるので、そちらで大丈夫かと思っておりますけれども、暑さ対策のほうは、ペットボトルでのお水の支給とか、そういったものを参加者の方にお配りするというので、脱水症状等を防ぐといったことができるかなと考えております。

それから、往復の乗船料につきましては、そのあたりの周知はこちらで気をつけてまして、勘違いを皆さんがならないような形で努めてまいりたいと思っております。

○えのした委員

ありがとうございます。私、ちょうど目黒川コースで、天井がないこの平船というものだったので、もちろんブランケットとか用意されていたのを拝見はしたのですけれども、ダウンジャケット等があるということで少し安心しております。屋形船であればその辺は、雨天も含めて安心して乗船していただけるのかなと思ひまして、安心しました。

あと、私も勘違いしていた一人なのかもしれませんが、やはり見出しに片道の料金がどーんと大きく載っていると、勘違いされる方というのはやはり多くいるのかなと思ひますので、その辺、ご丁寧に周知をお願いいたします。

あと、もう一つ最後に要望で終わりますけれども、例えばほか、荏原だけでなく、やはりどこか、年間通しての事業、運航日程になりますので、様々な地域で、特にクルーズ船から遠い場所の商店街ですとか、そういったところの景品になるのか、そういう何かPRの仕方というのですかね。A、B、C賞があって、C賞はクルーズ、10名様へそれが当たるよ。そうすると、もちろんただで賞品として行けますし、そういったチラシだけでなく、そのイベントのチラシにも中に入ったりすると思うので、こちらは要望しておきます。

○西村委員長

他にいかがでしょうか。

○あくつ委員

ご説明ありがとうございました。先ほどのご説明の内容でまず若干確認をさせていただきたいのですが、短期間の観光舟運を令和4年、5年度と実施して好評を得たという先ほどのご説明があったのですが、どのような好評を得ていて、聞いたのか、どういう感想が利用者の方からあったのか、代表的なものがあれば教えていただきたいというのが一つです。

それと、その下のところの表現で、今回は、令和6年度は通年運航を実施して、しながわクルーズの知名度の向上やイメージ醸成を図る、ニーズの把握や課題・ノウハウを抽出するというので、水辺の魅力のさらなる向上につなげることが目的と書いてあるのですけれども、ということは、これは今回もいわゆる試行というかテストというか、そういうニーズの把握のためにやるという認識でいいのかとい

うことが2つ目です。

そして、3つ目は、この予算の3,439万円という金額の内訳というのは、年間で500回運航されるということですが、当然、燃料費とか人件費等々がかかるのかな、借上費がかかるのかなと思うのですが、これは何に充当されるのかということをご説明いただきたいということです。この1,000円、2,000円の料金では当然賄えないのかなというイメージなのですが、そういうことで、先ほどの冒頭の目的のために、これは品川区の予算を投入して執行するものなのかどうか、この3つをまずお伺いしたいと思います。

○大森文化観光戦略課長

今3点、好評の内容と、ニーズの把握ということの事業なのかということと、あと予算の話です。まず好評の内容についてですが、前回乗船された方々が、7割近くは区内の方なのですが、そのうちのやはり4割程度は初めて乗ったということで、品川区の水辺ではこういったものが水辺の側から見えるのだとか、そういったことでしたり、金額がやはりリーズナブルにはなっておりますので、そういったところで、よい事業ということで好評を得ているところでございます。

それから、ニーズの把握のための事業なのかということですが、ニーズの把握もあるのですが、当然、乗られた方のそういったアンケートもあるのですが、船舶事業者のニーズ、いわゆる船が遊んでいる時間という、そういった隙間の時間というところにこの事業を入れていくことで、屋形船の本来業務を邪魔しないということがございますので、そのあたりも、屋形船、船舶事業者の皆さんと、どういったところで区の事業をすることで競合していかないのかですとか、また、これをきっかけに船舶事業者に、こういった使い方をすればもう少し品川区の屋形船が盛り上がっていくのではないかとかというところの、主に事業者向けに訴えていくということもございまして、あとは、単純にやはりクルーズイベントというところで、楽しんでいただきたいというところがございます。

それから、予算についてですが、予算上は少し幅を持たせているのですが、大人1,500円、子ども1,000円ということで、一応歳入の予算を組んでございます。そちらを算出して、約700万円余りの収入を見込んでおります。それで、この収入を見込んだ上で、その700万円も合算した上で、4,100万円余りを総事業費として、それで今、事業者と事業を組立てていっているところでございます。船舶業者にお支払いする金額、PR、広報費と、それから、ホームページのサイト等の製作費等で、そういったところでの金額がかかっているところでございます。

○あくつ委員

ありがとうございました。当然、私どもの会派とかほかの会派もそうだと思うのですが、水辺の魅力を発信するのに、こうしたミニクルーズというか、そういったものを行ったほうが品川区の新たな観光資源の発掘になるということは、我々も要望していたことですから、これはもう非常に納得はできると思いますが、先ほどご説明の中で初めて、いわゆる事業者のニーズの把握というか、事業者のこれからの展開の可能性、そういったものを見極めていくという目的も分かったので、後で藤原委員がいろいろ質問されると思いますが、私はそれで結構かと思います。

最後、予算のところですが、ということは、借上げのところはどれぐらい、大体で、概算でいいのですが、先ほどおっしゃっていた700万円の収入を見込んでいるということと、この3,400万円余りのうちの何割ぐらいが、PRとかホームページとかそういうものを除いて、どれぐらいを船舶業者にお支払いされるのか、教えていただければと思います。

あと、ほかにも質問があるのですが、取りあえずそれを。

○大森文化観光戦略課長

手元に予算書がございまして、そちらの見積りになりますと、旅客船運航費が3コースということで、全部で4コースですね。新規の要素のコースというのもございますので、そちらが合計で1,500万円という形になります。

それから、ホームページの製作等が250万円、それから、宣伝が660万円。その他、大きなところではそういったところ、あとは現場運営ですね。船のガイドですとか安全管理ですとか、そういった人件費に関わるものや乗船の備品に関わるもの、そういったものが660万円程度かかるというのがある、主立ったものはそういったところになります。

○あくつ委員

ありがとうございます。当然、区民からお預かりをしていたり、国から、東京都からの助成から成っている予算ですので、3,400万円余という金額は少なくはないというところで、目的に対しての効果がどういふふうに出るのかというところに、非常にこれから注視をしていかなければいけないのかなとは思いますが。当然、事業自体はやるべきだと思っておりますし、ぜひ推進をしていただきたいのですが、一過性のもので終わらないようにというところが、私も今、金額を聞いて、内訳を聞いて、感じたところです。

では、あと2つだけ教えてください。まず、これも会派から確認をということだったのですが、出発の場所が幾つかありますけれども、そういったところまでのいわゆる最寄りの駅とか、そういった公共交通機関からの案内というか、そういったものがしっかりされているのかどうか、整備が終わっているのかどうかということ、まず確認させてください。

それと、もう一つですが、我々、昨年、区民委員会で行政視察をした福岡県福岡市で、中洲のクルーズというものを我々も体験してまいりました。これも金額は1,000円で、那珂川という川で、難しい字の那珂という字なのですが、その那珂川というのは非常に川幅が広いのですが、その上で30分ほどのクルーズを我々も体験したのですが、その中で、我々委員会の報告にも各委員が報告していますけれども、和服を着たエンターテイナーみたいな方がいらっしゃって、いろいろ観光の名所なども一つ一つ紹介をさせていただきながら、篠笛という横笛を演奏して、ほかの委員も感想をおっしゃっていましたけれども、それが非常に私は個人的には、この1,000円という金額に対しての満足度の高さというか、エンターテイメントとしての、観光資源としての魅力の大きさというのを我々はまざまざと感じてきて、委員会の視察の報告の中で私も含めて各委員から、例えばそういったものをと。私もこういう企画に何回か乗ったことがありますけれども、そういったものは、なかなかそこまでの人件費というのは多分今までは割いていなかったのかなというところで、船頭さんの若干のアナウンス的なものはあったのですが、例えばそういったものも、これから先ほどおっしゃっていた可能性というか、観光資源としての品川区の魅力を広げていく上で、ぜひ運航事業者と相談をさせていただいて、そういったことをぜひお願いしたいなと思っておりますけれども、この2点、お聞きしたいと思います。

○大森文化観光戦略課長

1点目の案内整備というのは、例えば五反田のリバーサイドからだったら、五反田駅のほうでの調整がという意味合いでよろしいですか。

○あくつ委員

五反田駅から例えば五反田リバーステーションまでの道案内というか、そういったところですか、水族館の中に、私もそこから乗ったことがありますけれども、そういったものがきちんと案内されているのか

どうかとか、そういったことを伺っております。

○大森文化観光戦略課長

現段階ではまだそちらは整備されていません。そういったところ、天王洲の乗り場も、モノレールのすぐ近くところに東品川二丁目棧橋というのがあるのですが、それでもやはり迷われるお客様が以前もいたので、そのあたりは迷うことなく現地に到達できるように、案内の看板とか、モノレールやJRや東急、そういった駅等の周知に努めてまいります。

それから、福岡の中州のクルーズですけれども、那珂川ですかね、天王洲などは特に福岡のそういった、川辺に机とか椅子とかが出ていて、ちょっとしたカフェができますとか、そういったところを目的とか目標に、第三水辺広場のボードウォークをイベント活用したり、そういったところで一生懸命取り組んでいるところもございます。

それで、そういった船の中での催しというのも、何年か前に、屋形船の中でまつ乃家栄太朗さんをお招きしてとか、あと漫談の方をお招きしてとか、そういったことで一、二時間、船の上に座りながら、軽食を取りながらということもやってはいるのですが、やはりお金がかかるなというところで、別の事業という話になっていくかなとは思っているのですが、当然、やはり観光地という話になっていくと、面白いガイドさんですとか、そういった、乗りたいと思うコンテンツが必ず必要になってくると思いますので、そのあたりは今のご意見を受け止めまして、取り組んでまいりたいと思います。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○藤原委員

しながわクルーズという名前がついていますよね。ただのクルーズだったら、例えば今、隅田川とかでもやっているし、あと、隅田川から神田川のほうに入る日本橋に行くクルーズとかも、通年ではないかもしれませんがありますよね。しながわクルーズとつくわけだから品川区の特徴というのを、やはりこれ、文化観光戦略なのだから戦略していかないといけないと思うのです。そういう意味において、さっきあくつ委員が福岡で船に乗ったときのことをご紹介していただいたのですけれども、私はやはり目黒川の下流にあるところのお祭りなどは、おみこしを船に載せ、お台場のほうに。間違ってもこのクルーズにおみこしを載せてというのはいないです。だけど、例えば今あくつ委員が言ってくれたとおり、篠笛。部長、行ってましたよね。よかったですよ。それで、今でもあのフレーズが頭に出るのですよ。篠笛を吹いてくれて本当によかったのですよ。すごくよかった。

だから、私は、いろいろなこれから計画していくことがあるかもしれないけれども、品川区の特徴として、例えばおはやしを入れていただくとか、これからの課題の一つだと、それがしながわクルーズだと、それが品川区の特徴なのだというふうにしていただきたいと思うのですけれども、あくつ委員の質問と少しかぶってしまっているとか、乗ってしまっている。

〔「みんなそう思っている」と呼ぶ者あり〕

○藤原委員

はい。だと思っているので、これは要望だと思うのですけれども、そういうのを戦略していただきたーいというのが1点。

それと、今度、数的事業をお伺いしますが、このクルーズに参加してくれる方たちの目標人数というのはどのぐらいを想定しているのかということが、2点。

それと、3点目が、令和4年、令和5年、短期間だけでやったときに、延べ人数でもいいのですけれ

ども、どのぐらいの方が参加してくれたのかということです。好評を得たというのは分かるのですが、好評は感想だから。そうですね、さっきの説明。そういう感想ではなくて、人数的にはきちんとしたエビデンスというか、きちんとした数字をつかんでいるのか。

それと、逆に言うならば、いろいろ予算はお話ししてくださったのですけれども、これは通年ですつとやっていくわけですね。そうすると、何回のクルーズでいくら、とやると思うのですけれども。私、実施に賛成ですよ。だけど、人数的に目標の人数に、あまりにも目標の人数が乗ってくれなくなったときのこととかを、最初から考える必要はないけれども、やはりその辺もどう考えていくかということを考えていかないと。そんなことはあり得ないと思うけれども、通年だから、例えば1桁ぐらいしか、いや、1桁でもいいのですと、1人でも乗ってくださる方がいればいいのですというならば別なのだけれども、その辺の人数設定というのもしていかないといけないと思うし、だって通年ということは、通年クルーズをやるわけですね。だから、相当特徴とかいろいろ考えていかないといけないと思うのです。そういう意味においても。その辺は、文化観光戦略がついているから、戦略的にすごい戦略を考えていると思うのですけれども、その辺についてもご答弁いただけますか。

○大森文化観光戦略課長

先ほどの篠笛の件については、ご要望ということで。

〔「いや、答弁をください」と呼ぶ者あり〕

○大森文化観光戦略課長

おはやしという案も出まして、おはやしという話になってきますと、町会のご協力という形にはなるかと思しますので、そういったところに問いかけというか、ご協力をしていくところからのスタートになるのかなとは思っているのですけれども、そういったところも少し見据えて、おはやしに代わるものになっていくのかというのは、検討してというか、研究しながら進めてまいりたいと思います。

今回のクルーズの見込みですけれども、前回の話からしてしまうと、乗船いただいた方々の人数ですが、約5,500名になります。それで、こちらは3コースを合わせたコースでいくと、62%という形で乗船率が出ています。なので、今回は65%、70%ということで乗っていただけないかなというところで目標値は定めてはいるのですけれども、何分通年という形になっていくと、ただ走らせるというだけでは乗っていただけないですし、やはり平日の昼間に走ってもなかなか乗っていただけないというところがありますので、こちらのほうで6月、7月とずっと、天王洲が発の拠点になっているので、天王洲のハーバーマーケット等、そういったイベントに合わせて船を走らせるというところでは考えております。

また、1月、2月に関しては、先ほどえのした委員からもお話があったのですけれども、寒いということもあるので、目黒川のコースに関しては走らせない予定であるとか、そういったところなるべく乗っていただきやすい環境とか、人が集まっている環境等を配慮しながら運航するというので、考えておるところでございます。

あとは、あまりにも来なかったらということですが、一つは、1月、2月に平船を走らせないというのが、1月、2月、目黒川のイルミネーションに合わせて走らせたりした時期もあったのですけれども、そのときに1人、2人ということにはなかったのですけれども、やはり10人ぐらいしか乗船客がいなかったということもありますので、そういったところで調整していこうかなとは思っています。

それから、年々というか、先々を見てというところではあって、そこから水辺離れみたいのところになっていくみたいな、そういうことはないかなとは思っているのですけれども、まずは我々も運航事業者と一

緒に知恵を絞って、いろいろ工夫を凝らして、通年運航がもっと板につくような形になればいいなとは思っているのですが、先ほど申し上げたように、本来業務とかそういったところ、あとはほかの天王洲のキャナルフェスとかそういったところで、天王洲のほうで舟運をしようという考えもあった場合に、そのときの金額が大体5,000円とか4,000円とかを設定しているというところもあるので、そういったところで区が格安というか、安い料金で出していってしまうと、少し地域との兼ね合いもよくなっていってしまうというおそれもあるので、そういったところを非常に気をつけながら、この運航事業を慎重に進めていきたいなと思っておりますので、少なくなってしまうというのは今の段階では何とも言えないのですけれども、頑張っていきます。

○藤原委員

これからだから、すごく期待をしています。それで、23区の中でも水辺というか、海があったり、河川はあると思いますが、水辺に近いという区ばかりではないではないですか。そういう意味において品川区というのはそういう環境にあるわけですから、私もこういう水辺、そして、議会の中でも水辺の活用というのはもうずっと出てきましたよね、前から。一步一步、こういうふうに出てきたわけですから、思い切り、前半はそういう質問をしてしまいましたが、物すごく期待をして、わくわくしながら楽しみに、この事業が継続されて、私も一番最初にああいう質問をしてしまったけれどもと何年後かに、もうクルーズ区で、すごいですねとなるようなことを期待して、この質問を閉じたいと思います。頑張ってください。

○西村委員長

他にいかがですか。

○山本委員

では、私からもご質問等をさせていただきます。既にほかの委員の方からご質問をされているところを除いてなのですが、こちら、運航コース、それぞれ時間が1時間とか30分ぐらいというところになりまして、私は品川区の貴重な観光資源であるこの水辺を生かして、区内外それぞれの方々に、水辺を楽しみつつ観光していただきたいという思いがあるのですけれども、この時間でいうと、これだけだとすごくもったいないと思ひまして、せっかくこういったクルーズをやっていただいた後には、地元の近くの例えば天王洲や五反田、それぞれでその後に楽しんでいただくというのがすごくいいのではないかと思います。

少し話が長くなりましたが、要はこのクルーズだけではなくて、これを利用した方々に観光ということで、その後も品川区のよさを楽しんでもらうような仕掛けがあってもいいのではないかなと思ひまして、例えばこのクルーズに乗った乗船のチケットがあれば、その後、天王洲のハーバーマーケットで何かちょっとした割引が受けられるとか、五反田の飲食店で、それがあれば少しお得な特典があるとか、そういった形でぜひ地域のイベントや飲食店の方々と連携して、そういった地域イベント振興だったり、飲食店への貢献とかにもできるような形をすることで、乗った方の満足度も高まり、そして、単にクルーズだけではなくて、それ以外の品川も観光できるような形での仕掛けがあったらいいのではないかなと思ひましたのですけれども、その点いかがでしょうか。

○大森文化観光戦略課長

今、おっしゃられたとおりでと思います。背後地とかと言ったりするので、降りた先との連携というところでは、前回、昨年度は主にしながわ水族館がやりやすかったので、しながわ水族館での特典が受けられますよとかということもやっておりました。今回は通年というところもあるので、こ

ちらの資料の3の下の部分、ホテルや飲食店などの連携先というところで、そういったところと連携することで、クルーズ自体の付加価値が上がるような何か仕掛けは考えていこうと思っておりますので、そこは取り組んでまいりたいと思います。

○山本委員

ありがとうございます。ぜひ取り組んでいただいて、この地域の方々とうまく連携して、地域の方々にも喜んでもらえて、そして、乗った方にも満足いただけるような仕組みを進めていただきたいと思えます。

○横山委員

ご説明ありがとうございました。幾つか伺ってまいります。

まず1番の背景・目的のところになるのですが、ここで、イメージの醸成を図っていくというところがあります。これは、こういった部分も含めて、ニーズの把握ですとか課題・ノウハウの抽出をこれから行っていく部分もあるかと思うのですが、しながわクルーズというイメージの醸成については、現在どういうイメージを持ってTokyo Sea Tripと取り組もうとされているのか、イメージが分かりましたら教えてください。

次に、3番の運航コースの④番、特別運航便のところですが、こちらにホテルや飲食店など新たな連携先を開拓してとありますが、こちらは何か今後、例えばセットプランではないですが、よくホテルであったり飲食店などの何かセットみたいな形とか、そういったイメージがあるのかなと、少し分からなかったもので、どういった連携のイメージを持っていらっしゃるのかというのを教えてください。

3点目が、知名度アップの部分というのも今回目的に入っているのですが、この広報戦略について、例えば乗船した方にインスタの投稿を流していただいたり、現時点で何かお考えがあるのかを教えてください。

まずそこまでお願いします。

○大森文化観光戦略課長

まず、3点です。イメージ醸成の具体的な内容と、あと、特別運航便での具体的な連携ですね。それと、乗船いただいた方々にインスタ等のそういった仕掛け、知名度アップの仕掛けという形だと思いますが、まず、イメージ醸成についてですが、こちらは、先ほどのガイドをつけるというところは、やはりマストだと思っております。ガイドについては予算もつけているので、そういったところで品川区の歴史、目黒川沿いは結構旧東海道のほうに下りて、それから、新しいまち大崎を通って、五反田の飲食のまちというところの流れ等がございますので、そういったところのガイドによる説明をしていくことで、品川区を知っていただくというところのイメージ醸成、広く知っていただくということができればよろしいのかなと思っております。

また、天王洲の東京湾のコースに関しましても、新しくリニューアルされた歴史館を通して、台場の建築の工法とかの展示が新たにできているところがございますので、そういったところから台場の建設から歴史館のPRとか、そういったところにつながっていけばいいのかなということで、とにかく品川区とはこういうところですよということを、いろいろなところといろいろなものをつないでいって、皆様に品川区が本当にいいところだなということが少しでもご理解いただければということで取り組んでいくというのが、イメージ醸成という形になります。

それから、特別便ですが、こちらは、イベントとか飲食店で10%割引という話とかに具体的

になっていきますと、その部分をまた補填するのに予算が必要かという形になっていってしまうので、なかなか今の予算の中では、実はそこまでは設定されてはいないのですけれども、最終的には自走をして、こういったクルーズを民間の船舶事業者が自主的に運営していただけるともっといいのかなというきっかけづくりというところでのこのクルーズをしていくと、そういった狙いもございますので、町場同士、地域同士、そういったところのつながりも、区が中間に入ってハブになって、大崎のOAMとか天王洲のキャナルサイドとかしながわ水族館とか、そういったところと連携して行って、可能な部分で何か乗船された方にサービスが提供されるようなところも、研究・模索していきたいと思えます。

それから、知名度のアップですけれども、今、委員のご意見を伺って、やはりキャンペーンみたいなものを張ってもいいのかなと。Instagramとか、それからXとか、そういったもので、乗船された方々が写真、たとえば船の上から写真を撮って、こういったことをというところを載せていただいたことによって抽せんをかけて、抽せんで何かグッズをプレゼントしますとか、そういったことはできるのではないかなと思ったところがございますので、そのあたりは取り組めるところをやっていききたいと思います。ありがとうございます。

○横山委員

ご説明ありがとうございました。積極的にいろいろ試行錯誤していただいている素晴らしいと思うので、ぜひ、実際の形につなげていただけたらと思っています。

続きですけれども、先ほど少しお話、民間事業者の方のふだんの値段設定のところ、4,000円から5,000円の設定にしているところもあるというお話があったのですが、こちらは柔軟な料金設定をするということで、区としての適正な料金というのがどういうふうを考えられているのか、そのあたりを少しお聞きしたかったのですが、民間事業者の料金についても多分、季節であったり事業者によっても様々だとは思いますが、大体现在平均というのはどのくらいでやられているものなのか、この大人で1,000円から2,000円程度、子どもが500円から1,000円程度というところで、どういうふうに適正だと考えられたのかというところを教えてくださいたいと思います。

あと最後に、周知方法のところポストイングとあるのですが、ポストイングのエリア等はどういった形で考えているのかを教えてください。

○大森文化観光戦略課長

まず、金額の適正化ですけれども、やはり一番高いところは桜の目黒川です。そちらは私どもの調査によると、当日だと5,500円、事前に申し込むと4,500円ということで、大人の金額になるのですが、そういったことで調査が取れているところです。区としてそういうハイシーズンというのは、そこに先ほども言ったようにこの事業を入れてしまうと、どうしても競合してしまうので、あまりシーズンでないときに走らせた場合に手頃な価格というところと、少し船に乗るという特別感を考えたところで、大体1,000円から、上限、一番トップで2,000円というところが、懐が緩む金額ではないかなというところで設定しているところです。こちらは、先ほども言ったTokyo Sea Tripも、屋形船の事業者の方々の意見を確認しての金額設定という形になっているので、妥当なものかなと思っています。ありがとうございます。

それから、ポストイングに関してですけれども、まずは区の施設に置くというところと、あと、実際に配布するとなると通年でということになってきますので、ご自宅への一つ一つのポストイングという形にまで行き着けないかもしれないのですが、年間を通したイベント等での配布とか、そういったところにご協力をもらって、場合によっては一つ一つ配布というようにできればいいなど

は思っておりますけれども、まずは地元の周辺のところから、ポスティングするのであれば、そちらのほうからというような形になるかなと思います。

一番のところで、そこにやはり人を割くのが難しくなるので、例えば今、ポスティングという具体的な例で言いますと、秋の水辺の観光フェスタとかのときに秋の運河まつりということで、地元のなぎさの会さんたちを中心に五、六十人ですかね、春は五、六十人ぐらいが集まって3万枚のチラシ、パンフレットのポスティングをしているので、そういったところに入れていただくというようなことは可能かと思っております。

○横山委員

ご説明ありがとうございました。事業者とも話し合っていたいただいて、金額設定をしていただいているということで、承知いたしました。

こうした舟運だけではないのですけれども、これまで通年ではなくて、スポットで実証実験みたいな形で区として経験を積み上げてきて、その後、今回通年で、その先を考えたときに、やはり自走していただくというようなお話もあったと思うのですけれども、そのときにうまく着地していけるような金額であったり、様々な連携の在り方というところがあるかと思しますので、ぜひその辺も意識していただきながら進めていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○せらく委員

よろしくお願ひします。今、他の委員からのお話も聞いておまして、私も、しながわクルーズが区民の皆様にとって水辺の魅力を知れるいい機会だと思しますので、事業に関しては応援しておりますので、Tokyo Sea Tripと協力して、工夫してやっていただければと思います。

お伺いしたいところが特設ホームページのところなのですけれども、予算は、先ほどお聞きしました250万円ということで、こちらは、ホームページの中の予約決済機能も含まれている金額なのでしょうか。あと、その予約決済システムというのは、今まである品川区の電子申請とは全く別の、しながわクルーズのためのシステムを用意されたのか、そういうところと、あと、来月からスタートすると思しますので、ホームページの進捗状況をお伺いしたいと思います。

○大森文化観光戦略課長

進捗状況と、あと金額、250万円の内訳になるかと思っておりますけれども、実は受付サイトの制作費が一番金額がかかっていまして、やはりそこが、およそ8割方が予約サイトの制作費ということで見積りが出ているところでございます。大本の部分に関しては、令和5年度に実施しているときにホームページをつくっているのです、その土台を活用すれば、少し金額は抑えられていくのかなというところの算段もあるので、そういったところを工夫しまして、その部分で削れた分はほかのところに戻して、その分充実させていくということに努めていきたいと思っております。

それから、もう1点、進捗状況に関しましては、そのサイトの制作費が、その部分の導入という形で今やっておりますので、進みのパーセンテージで具体的なところは分からないのですけれども、場合によっては、一番最初は6月の15、16日に走らせる形になっておりますので、なるべく早くスタートができればいいなというところと、料金のサイトの制作が、うまく間に合うようにはしているのですけれども、少し遅れ気味になっているところもございまして、もしかしたらサイトというか、電子での料金決済ができますよというのが、少し遅れてしまう可能性があるというところに今おります。

○せらく委員

ありがとうございます。進捗状況をお伺いさせていただいたのが、前回、今年の3月にクルーズをやったときに、外部のイベント予約サービスを使っていらっしゃるのを見まして、そこだと割と皆様が使ったことがあるようなサービスで、例えばグーグルアカウントでログインができたり、アップルのIDでログインができたりして、決済もスムーズに行くのかなと思ったところで、今回はオリジナルで予約決済サービスをつくられたということだったので、外部のサービスを使うと決済のたびに手数料がかかると思うのですが、利用人数によっては、もしかしたら区でオリジナルでつくったほうが行く行くはペイできるかもしれないのですが、そういったところの区の負担分の見積りというか、想定などは今回されていたかというところを、質問したかったところです。お願いします。

○大森文化観光戦略課長

その今ご質問があった、グーグルとアップルと、そういったところと併用できるか、オリジナルでかかったほうが先を見てというところは、確かに委員がおっしゃるとおりかなと思いますので、そのあたりもまだもし間に合えば、先々を見てどちらが有効的なのかということも検討して、導入していきたいと思います。

○せらく委員

ありがとうございます。今回、通年で実施して、目標も前回よりも高く、乗船率も65%から70%という目標も立てていらっしゃると思うので、ぜひ利用したい区民の方、利用者の予約決済がスムーズにいくような方法を、今後も考えていただければと思います。よろしくお願いします。

○西村委員長

その他よろしいでしょうか。

それでは、ほかにご発言がないようですので、以上で本件を終了いたします。

(2) 学校施設開放の運用変更について

○西村委員長

次に、(2)学校施設開放の運用変更についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○三井スポーツ推進課長

それでは、私から、学校施設開放の運用変更についてご説明をさせていただきます。

まず初めに、運用変更の背景及び理由になりますが、これまで学校施設開放の予約については、紙ベースでの管理をしまして、空き予約の対応などは学校が行っていた部分もあり、学校の負担となっているような状況でした。11月の区民委員会でもご説明をした施設予約システムのリニューアルに伴いまして、学校施設開放事業もその施設予約システムに載せまして、予約手続などをオンライン化することで、使用者の利便性及び学校負担の軽減を図るということを目的に、運用変更を行います。

資料の3番、運用変更手続をご覧ください。学校施設開放の運用変更に当たりまして、まず、教育委員会所管の品川区立学校施設使用条例施行規則の一部改正を行いました。主な改正内容を表にまとめております。

まず、(1)番は、こちらは紙での申請となっていたものをシステムでの申請に変更するために、変更を行っております。

あと、(2)及び(3)については、施設予約システムで管理するほかの施設と同様、オンラインク

レジットカード決済の対応と、あとキャンセルルールの統一化として、7日前までにキャンセルすれば全額返金できるようにということで変更を行っております。ただ、まだ紙が一部残ってしまいまして、還付、使用料の返還についてはまだ紙を提出いただいて対応ということで、クレジットカードで決済してもらった方は電話をいただいて、一応ホームページ上に申請書を載せていますので、ダウンロードしてこちらに提出いただくということ、基本的には口座払いで返還ということになっております。

最後、(4)ですが、こちらは、これまで空き予約は各学校で、社会教育団体以外の団体などは、団体登録なしで学校で受付をしていたのですが、システム上で予約をする上では顔が見えなくなるというところもありまして、事前にほかの施設と同じような団体登録を行っていただくことで、こういった団体か少しこちらで確認をさせていただいて、予約をしていただくというような変更を行っております。

最後、4番、運用変更年月日ですが、施設予約システムは5月15日にリニューアルいたしますので、翌月の優先予約から対応できるよう6月1日から運用変更して、7月の予約申請分から対応することを予定しております。

○西村委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたらご発言願います。

○山本委員

ご説明ありがとうございました。学校施設の開放について、この区のシステムを活用して、オンライン化によって利用者の利便性の向上と、それから、学校の負担軽減を図れるということで、すごくよい取組だと考えています。

いよいよ来月から導入されるということで、幾つかご質問をさせていただきたいのですが、この学校施設の開放については、4つの地域スポーツクラブが利用調整をしていると思いますけれども、それぞれの地域スポーツクラブへの説明の状況と、それから、説明した中での意見なり感想とかというのはどういうものがあつたかということをお聞かせください。

○三井スポーツ推進課長

4つの地域スポーツクラブへの説明状況ですが、昨年度から何回か説明会を開かせていただいて、つい先月も、地域スポーツクラブの代表と実際に使うスポーツ団体の代表の方を呼びまして、説明会を実施させていただいて、Q&Aなど送らせていただいているような形です。その中で、実際に施設予約システムの質問というのはそこまでないのですが、操作性はどうかというところで事前に確認したり、そういう要望はあったので、今月も月末にもう一回説明会をして、そのときはもう画面も見せられると思うので、実際の画面を見せながら、こういう手続をしてくださいというふうに対応しようと思っておりますので、施設予約システムは混乱がないように、どういう操作性かというのを結構聞かれていましたので、そこをまた5月にフィードバックしたいと考えております。

○山本委員

ご説明ありがとうございます。このシステム移行というのはすごく難しいと思っております、それは何かというと、実際、地域スポーツクラブが取りまとめているのですが、その会議自体は月に1回とか定期的にはかないですし、その先にいる方々がそれぞれやるというところで、加盟団体の方々がそれぞれやるというところかというと、その方々にどれだけ分かりやすく説明するかというのは、少し難しいのではないかなと思っております。

なので、先ほどご説明がありましたけれども、ぜひ丁寧なご説明をしていただくとともに、やはり分

からない方々に対しては、ヘルプライン、ヘルプデスクみたいな形で照会先などをお教えして、ぜひ円滑な移行ができるようお願いをいたします。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○あくつ委員

ご説明ありがとうございました。資料のところでも確認なのですが、今回の運用変更手続は、品川区立学校施設使用条例施行規則の一部改正を教育委員会で審議・承認を行ったということで、条例は触っていないということですが、規則とか条例を見ますと、主体は教育委員会となっているのですが、これを今回、スポーツ推進課で実質的な運用を行っているということの理由を教えてくださいたいのと、それと、キャンセルルールの統一化のところ、運用変更手続の（3）番で、先ほども口頭で若干ご説明があったのですが、返金が紙ベースだということになりましたけれども、キャンセル自体はオンラインでできるのかどうか。現在、区立の施設は、キャンセルは恐らくオンラインでできると思うのですね。返還の手続だけが紙ベース、アップしてある紙をダウンロードなりプリントアウトして、それを持っていくということの理解でいいのかということが、2つ目です。

3番目は、（4）の、今までは団体登録なしでも申請可能だったものが、今回からはそういったフリーの方は、やはりスクリーニングというか、どういう団体か、顔が見えない中でオンラインになってしまうので、そこは団体のみとなるということでしたけれども、現段階で団体登録なしで利用されている方がどれぐらいいらっしゃるって、その方たちはこれからどうすればいいのかということ、この3点をお伺いしたいと思います。

○三井スポーツ推進課長

まず、1つ目の、教育委員会の所管で、スポーツ推進課でやっているというところなのですが、うちのほうで補助執行を受けまして、一応学校施設開放事業を請け負ってやっているところになります。基本的に地域スポーツクラブと利用調整会議等を行いますので、関係するスポーツ団体とよく関係ができているスポーツ推進課が担っているというところが、メインのところになります。

また、2つ目のキャンセル自体どうなるのかということ、キャンセル自体はオンラインでもできるということになっているのですが、ただ、条件がございまして、既に支払い済みの場合については、お電話をいただいて、実際にうちから還付申請書をダウンロードして出してくださいというご案内をして、行うようになっております。こちらは、支払ってしまうと、キャンセルがもうシステムの仕様上できないような仕様に今なっているところ。なので、オンラインではできるのですが、そういう条件付でできるということになります。

あと、フリーの方、今までフリーでできていたところで、今は全て紙で管理しているということもありまして、全て数をしっかり把握は、すみません、できてはいないのですが、全体からすると1割前後かなというような体感でおります。基本的にはほとんど地域スポーツクラブが予約を取って、利用調整会議が終わった後、今度は社会教育団体登録をされている方が優先になりますので、それでも余っているところが団体登録なしで利用できるという順序になっておりますので、数としては少ないと認識しております。

○あくつ委員

ありがとうございました。

もう1点だけ、では、今のところの返金の手続で、先ほどご説明の中で、口座払いで返還するとご説

明があったと思うのですが、それは、では還付の返還の紙を出した場合に、何か後日、現金ではなくて口座でお支払いすると、こういうことなのでしょうか。それは、クレジットカードでお支払いをして、それで、またご自身の口座のほうに返すということで、現金のほうの方が早いような気がするのですが、そのあたりを教えてください。

○三井スポーツ推進課長

今のスポーツ推進課の使用料の返還の手続としては、還付申請書に口座情報を書いていただいて、その口座払いで返しているという現状でございます。現金は取り扱っていない状況でございます。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○藤原委員

今日、教育委員会事務局の庶務課長はお見えになっていないのですよね、説明に。私はあれっと思ったのですけれども、この施設の運用というか、施設の何を伺うと、課長ではなくても、スポーツから質問で入ると、いや、学校の施設ですからというお話が多かったような気がするのですよ、私の考えだと。これは運用というかシステムだけれども、教育委員会とは話がきっちりついているのですよねというまじ質問です。

○三井スポーツ推進課長

実際にももちろん施設を所管しているのは教育委員会になりますが、教育委員会の条例、規則の改正をするに当たっては庶務課長に必ず説明をして、庶務課長から教育委員会に議案の手続をしていただいていますので、説明をしっかりと、庶務課も理解しているところになります。

○藤原委員

この運用変更の背景の中に、学校の負担に今なっているからと出ているのだけれども、これをすることによって、学校の負担というのは間違いなく軽くなるということですよ。それも確認させてください。

○三井スポーツ推進課長

こちらは、認識としては、学校への問合せが減るという認識をしております。事務が減ると。ただ、やはりシステムを導入するに当たっては、最初はシステムの操作をしていったりすることになるので、学校が利用しない部分をうちが学校開放するとき、どうしても学校施設になるので、施設を利用しない部分がどこだというのは、毎月学校のほうで登録はしていただくという作業はあります。それは今まで紙でもやっていたのですが、それがシステムに切り替わるということで、最初は少し慣れない部分は手間になってしまうかもしれないのですが、基本的には学校の負担は減ると考えております。

○藤原委員

日頃、どこの課も部も大変なのですが、少しでも、これで教育委員会の負担が軽減されるということであるならば、すごく私は歓迎するのですが、いろいろある中で一番あれっと思うのは、私個人ですが、日野学園の敷地というか、日野学園の隣が品川区立総合体育館ですよ。品川区立総合体育館というのは品川区のスポーツの、グラウンドという意味ではなくて、プールがあったり体育館があったりと思うのですけれども、それで品川区立総合体育館という名称にもなっているのだけれども、あそこは日野学園の施設ですからとなりますよね。いいのですよね。日野学園の施設、両方あると。

だけど、そのすみ分けも市内でいろいろな課題等があるとは思いますが、学校で使わない時間をというのも分かるのですけれども、やはり品川区というのは、もちろん教育もだけれどもスポー

ツも推進しているわけですから、そこをもう少しすみ分けがいいというか、もう少し、教育問題も大事だけれども、スポーツも頑張ってもらいたいという気持ちもすごく私はあるのです。もう少し区民全体のスポーツというのを発言をしていってもらいたいというのも少しあるもので、その辺について、少し大きい質問になってしまうけれども、担当課長としてはその辺をどう思うか、答弁していただけますか。

○三井スポーツ推進課長

日野学園と総合体育館の関係になりますが、確かに外から見るととても分かりづらいというところはあるかと思います。総合体育館があって、日野学園の体育館もあって、プールは併設されていますが、実際は日野学園のプールだったり。その辺のPR不足も私のほうで感じてはおりますので、そこをしっかりと周知していきたいというところと、いろいろスポーツのほうも頑張っていきたいと思っていますので、例えば親子でジュニアスポーツフェスタというのを3月に実施したときは、日野学園にもご協力いただいて、日野学園の体育館もお貸しいたいて、総合体育館と日野学園の体育館を一体的に使えるようなところは、学校とも調整しながら今後もやっていきたいと思っています。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○えのした委員

ご説明ありがとうございました。私も確認させてください。先ほど山本委員からの、地域のスポーツクラブ等へのご説明があったかという話で、今このサイトを見ると、ちょうど15日ですから、今日13、14日が終日システムの利用停止ということで、下のほうに行くと、課長がおっしゃっていたスマホの画面などが出て、これを見ると分かりやすいなと思うのですが、私はやはり区民の一人として地域のスクエア荏原とかを借りるときに、そのホームページからなかなか予約サイトにたどり着けなくて、どうしても事務局に電話をしてしまうということもありましたので、やはりそちらのほう、分かりやすく丁寧にご説明していただきたいのと、あと、確認の部分で、先ほど社会教育関係団体と、あとほかの団体登録を行っている団体にもということでしたが、1割の方、団体以外の1割利用されている方もいらっしゃるということで、そういう方にもご説明をされたのかどうかというのも、では確認させてください。

○三井スポーツ推進課長

団体登録のない人については、各学校で基本的には周知にはなってしまうかなと。こちらからなかなか直接というのはできていない状況はございます。

○えのした委員

ありがとうございます。確認が取れました。学校負担のないように、最初のほうは学校にも少しは負担ができていますとは思いますが、そういったところまで含めてご対応いただければと思います。ありがとうございます。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○横山委員

今の議論に少し関わってくることですけれども、確認なのですが、団体というのが、社会教育関係団体と一般団体というのがあって、どちらかの団体登録を、もし仮にフリーの方がこれからもお使いになりたいと、例えばそういったご相談があった際には、何かしらの団体に登録していただくというご案内等をするのか、今後、そういったお問合せ等があったときに、フォロー体制として、教育

委員会のほうで、各学校で今後行うのか、それともスポーツ推進課で問合せの対応、例えばシステムの不具合であったり、そのあたりのフォローアップのすみ分けはどのように行うかを教えていただけますか。

○三井スポーツ推進課長

基本的にそういった学校施設開放の予約とかその団体登録については、学校ではなくてスポーツ推進課で対応をさせていただきますので、こちらは学校の負担がないような形を考えております。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、ほかにご発言がないようですので、以上で本件及び報告事項を終了いたします。

2 その他

○西村委員長

次に、予定表2、その他を議題に供します。

その他で何かございますでしょうか。

○三井スポーツ推進課長

私から、ボルダリングのイベントについてご案内をさせていただきます。

お手元に資料を配付させていただいていますが、1番の目的は、記載のとおりではございますが、ボルダリング場でオリンピックの方を招いて、ボルダリングを気軽に楽しめる機会を創出することと考えております。

日時ですが、6月2日日曜日、午前10時から午後3時半までを予定しております。

場所は、しながわ中央公園のボルダリング場ということになっております。

内容ですが、オリンピックの野口啓代さんなどによるトークイベントだったり、あとは、ボルダリングの教室を開催することを予定しております。トークイベントは自由参加でして、教室は事前申込み制になっております。ボルダリング場が、基本的には小学4年生以上ということになっておりますので、対象が小学4年生以上になります。

最後、周知方法でございますが、広報しながわの5月11日号にも掲載はしていますが、区のホームページ、SNSだけでなく、こちらに、すみません、記載がなかったのですが、学校にもチラシを配布したいと考えておりますので、いろいろなPRをして周知をしていきたいと考えております。

○西村委員長

本件につきまして、ご確認等ございましたらお願いいたします。

○藤原委員

すみません、関連ですけれども、ボルダリングはすばらしいと思うのですが、品川区は何年か前に、スケートボードパークみたいなのを作りましたよね。つくったときは委員会に出たのですけれども、私も区民委員会、ずっとというか長いので、もうそれから出てこないのですね、スケートボードのことに関しては。ほとんど出てこなかったような記憶なのですが、今、あのスケートボードのパークはどうなっているのですか。また、こういうふうなフェスとかをやっているのですか。

○三井スポーツ推進課長

一応スケートボード場は、公園課と一緒にやっている部分もありまして、予約はうちでやっています、公園課で教室を開催はしていると聞いております。利用状況はうちも把握はしているのですが、細

かい数字は持っていないのですが、年々増加していると把握をしています。なので、スケートボード場はある程度認知はされてきて、利用は伸びているのではないかなど。ただ、ボルダリング場はやはり2年目で、なかなか利用がまだ伸びていないところもあるので、こういった啓発イベントもしながら、ボルダリング場を知ってもらうということを考えて、実施したいと思っています。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。

○山本委員

確認ですけれども、ボルダリングフェスということなのですが、これは、やる内容はトークイベントと教室ということで、何か割と気軽にその場で来て参加するというものとかがあったらいいのになど少し思ったのですが、そういう自由開放している時間とかはないのでしょうか。

○三井スポーツ推進課長

基本的に今はボルダリング場は教室で使ってしまうので、自由にといいはないのですが、ただ、ボルダリング場の裏が自由スペースで、そこで一応トークイベントはやるうとは今考えていて、そこで、来た人が少しボルダリングに触れられるような仕掛けができないかなというので、今ちょうど練っているところです。ただ、そこまで行けるかというのは今、考えている最中です。

○山本委員

ご検討されていることは理解しました。

教室をやる側ではない一般開放しているところは、割と子ども向けの簡単などころなので、できれば教室をやるほうが難易度もやや高めのやりがいのあるところなので、ふだんは閉まっているのですが、こういうところを、監視員とか指導員の方がいることが前提にはなろうかと思えますけれども、割と自由に、いる方ができるようになるというものがあってもいいのかなと思いましたので、今回や次への検討にしていいただければと思いました。

○西村委員長

その他いかがでしょうか。よろしいですか。

では、ないようですので、以上で本件を終了いたします。

ほかに、その他はよろしいでしょうか。

それでは、正副委員長より1点ご報告申し上げます。

2月27日の委員会でご案内いたしました今期の当委員会の所管事務調査の現況報告につきまして、お配りしております文書のとおり議長に提出いたしますので、ご報告をいたします。

委員及び理事者の皆様のご協力に、この場を借りて改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上でその他を終了いたします。

本日がこのメンバーによる最後の委員会となります。本来であれば副委員長にもご挨拶いただきたかったですけれども、お休みということですので、私から最後にご挨拶をさせていただきます。少しだけお時間を頂戴します。

1年間、誠にありがとうございました。初めてのことで不慣れな点多かったと思うのですが、皆様のおかげで、本当にこのメンバーでよかったなと心から思っております。まずもって心より御礼を申し上げます。

視察に関しましては、ほぼコロナの前の状況に戻した実施だったと思います。川島部長にもご同行い

ただきまして、できる限り皆さんの希望に沿えられるようにということで、本当に事務局が何度も何度も調整をしてくださったおかげで実現したと思っています。先ほどあくつ委員も藤原委員もおっしゃっていたのですが、福岡での船の視察が私も五感に残ってしまっていて、音も風も今でも思い出すぐらい、博多は、だからこんなに観光地として人気なのだなというのを感じる視察になりましたし、長崎ではあくつ委員お勧めの長崎さるくをみんなで歩いて、歴史を感じるという体験をさせていただきまして、山口市では川島部長にも質問いただいたりして、地域の中学校の校長先生が市民としてお越しになっていて、地域づくりのお話を聞かせていただくというような場もあったかと思います。

所管事務調査では、視察の前に都市型観光についての調査研究をしたいというのを私からも要望させていただきまして、その後、町会、自治会の支援、大変分かりやすい資料を課長につくっていただきまして、今日、モンゴルに行かれていらっしゃるかもしれませんが、中小企業支援については、モンゴル高専についての質問が私の想定以上に盛り上がったという印象がありまして、私も本当に不慣れで、初めは大変緊張していたのですが、途中からは、できる限り皆さんがいかに質問を引き出せるかとか、闊達な質疑になるかというのを心がけてやらせていただいたと思っています。

皆様の胸をお借りする気持ちで1年間やらせていただきました。本当にありがとうございました。

それでは、以上で本日の予定をすべて終了いたします。

これもちまして、区民委員会を閉会いたします。

1年間ありがとうございました。

○午後2時31分閉会